

## 2 全国党大会 (National Party Convention)

### (1) 総括

共和党全国大会は、8月12日から4日間にわたりカリフォルニア州南部の観光都市サンディエゴで開催され、まず大会初日には、移民規制強化や妊娠中絶禁止を含む保守色の強い党綱領が原案どおり採択された。焦点となっていた見解の相違に対する寛容を訴える項目からは、中絶反対派への譲歩の結果、中絶への言及が削除されている。会議場での発表者のリストからは、党内融和を優先させるため予備選挙で2位となった超保守派のブキヤナン氏が除外される一方、党の多様性、包含性というメッセージ発信のため、少数民族優遇政策や妊娠中絶支持派のパウエル前統合参謀本部議長やモリナーリ下院議員（基調講演者）等、黒人や女性が登壇する姿が目立った。

大会3日目には、予備選挙勝者のボブ・ドール前上院院内総務（73）が正式に同党の大統領候補に選出され、ランニングメイトには、ドール氏とは思想政策が異なり長年対立関係にあったジャック・ケンプ前住宅都市開発省長官（61）が選出された。ドール氏による同氏指名発表は大会直前の10日に行われた。元プロフットボールの花形選手で移民、少数民族に理解を示してきた稳健派のケンプ氏は、浮動票、中道票獲得に貢献するものと期待された。

大会最終日の指名受諾演説では、従来均衡予算優先の立場をとってきたドール氏が、大会前の8月5日に公約として発表した所得税の一率15%削減を中心とする経済政策を提示し、その財源的裏付けを含む政策論争が選挙戦の争点として浮上することになった。サプライサイダー（大型減税による経済成長の唱導者）として知られるケンプ氏の協力とあいまって、この新経済政策がドール氏巻き返しの起爆剤となるか、注目された。

一方、8月26日から29日まで、イリノイ州シカゴで全国大会を開催した民主党は、対抗馬のなかったビル・クリントン大統領（50）、アル・ゴア副大統領（48）を正式候補に指名し、1936年のローズベルト大統領以来の民主党大統領の再選に向けて結束を強めた。

参加した代議員数は、共和党が1,990人、民主党が4,289人である。

なお、二大政党制の打破を目指して1995年に創設された改革党は、8月12日から郵便、電話、インターネット等を使用した選挙を実施し、8月18日、リチャード・ラム前コロラド州知事を65%対35%で破った党創設者のロス・ペロー氏（66）を大統領候補に指名した。

## (2) 共和党大会

共和党大会は、1996年8月12日から15日まで、米国大陸部屈指の保養地であるカリфорニア州サンディエゴのコンベンションセンターを会場に開催された。下記はそれぞれの日における主要な演説の要旨である。

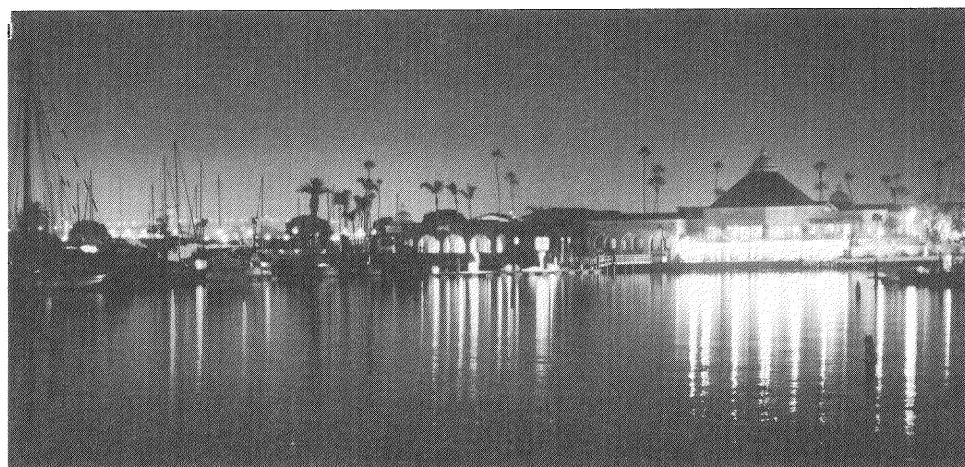
第一日目（1996年8月12日）

ジェラルド・フォード（元アメリカ合衆国大統領）

「私たち共和党員が信ずることとは、いったい何でしょうか？それは、何百万人の民主党員と、独立系の人々が信ずる政府、つまり、望むものは何でも与えてくれるほど、十分に大きな政府とは、あなたが持つものすべてを奪い去ってしまうほど、十分な大きさを持つ政府のことだ、ということです。私たちは、ワシントンの徹底的な改革が必要です。2年前に連邦議会で始まった改革を、やり遂げようではありませんか。

政党の第一の目的は、勝つことです。一般に、私たちはその政策に含まれるもの実践したとき、勝利してきました。私たちの党は、まさに神の与えた奪うことのできない権利として、すべての人間は平等に作られたという主張のために死んだリンカーンの党であり、また、アメリカは良いから偉大である、ということを私たちに思い出させてくれるアイゼンハワーの党であり、最終的に共産主義者に私たちを負かすことあきらめさせた、この国の軍事的産業的強さをうち立てるに固執したロナルド・レーガンの党であり、30年以上も誠実かつ正直にこの国に仕えてきた、心から率直にものを言う男である、ボブ・ドールの党なのです。

ジョン・アダムズは、ホワイトハウスに住んだ最初の大統領でした。彼は、大統領の家のために祈りをささげました、という内容の手紙を妻に書きました。彼はこう書いています。『正直で、聰明な者以外の誰も、今後この屋根の下で統治することができんように。』」



サンディエゴ

### ジョージ・ブッシュ（前アメリカ合衆国大統領）

「強い家族と、健全な価値はアメリカの背骨であり、それは、共和党の心と魂です。家族の中で、真実と価値と個性に基づいた、リーダーシップが始まるのです。

私は、大統領の地位の威儀を保つために、一生懸命働きました。大統領の品位を落とされ、評判を傷つけられるのを見て、胸がたいへん痛みます。

ロナルド・レーガンと、また、軍事的、外交的問題で私を補助してくれた、多くの有能で、円熟し、試練に耐えた専門家のおかげで、この世界はずっと安全になりました。私たちは冷戦が終了し、ベルリンの壁が崩壊し、ソヴィエト連邦が解体し、東ヨーロッパとバルト3国が自由になり、ドイツが統一し、ラテンアメリカに民主化の動きが起こり、そして、クウェートでサダメ・フセインの攻撃が停止させられるのを見ました。中東和平交渉は、私たちの監視の下で開始されました。これはすべて、国連の指揮下に私たちの軍隊を置いたり、難問を避けたりかわしたり、他を非難するのではなく、信念を持った政策の実行が要求されるのです。ボブ・ドールは、この信念に身をささげることを表明した人間の一人です。」

### ナンシー・レーガン（元アメリカ合衆国大統領夫人）

「ビデオによる、私の夫への賞賛の言葉に感謝申し上げます。それは、皆さんがあなたにくださった、ホワイトハウスでの素晴らしい8年間と、その前のカリフォルニアでのことを、思い起こさせてくれました。ロナルド・レーガンは、4年前、彼が皆さんと国家に対してお話しするのは、これが最後でしょうと言いました。悲しいことに、彼は予言者でした。自分がアルツハイマー病を患っているという、公衆に向けた彼の声明は、彼が自分の病気を知ったときに発せられました。いつもと同じ様に、アメリカの人々は自分たちの本当の精神を表現し、援助の手と、彼に対する愛情を注いでくれました。私たちはそのことを感謝しています。もし彼がここにいたら、彼は私たちに皆さん個人の力を思い出させてくれ、もう一度私たちの翼をできるだけ高く広げ、アメリカのことを決してあきらめてはいけないと駆り立ててくれたでしょう。」

### コリン・パウエル（元アメリカ合衆国統合参謀本部議長）

「私は皆さんの前に、アメリカンドリームを実践する仲間として来ました。私の両親は、70年以上も前に移民としてこの国にきました。彼等は、希望と、この偉大な国が与えるに違いなかった機会を利用したいという欲望以外、何も持っていました。彼等は週末に食べ物をテーブルの上に置く仕事と、私たちの頭上に屋根をはる仕事を見つけました。その仕事は、私たちの家庭に威儀を与えました。彼等は、私たち子どもたちに、一式の大切な信念を教えました。それは、正しいか、悪いか、というとてもわかりやすい理解と、全能の神への信仰です。一生懸命働くことと、教育は、この国で成功する鍵です。私たちはいつも、いつもアメリカを信ずるように教わりました。

共和党員としての、私たちの想像力は、価値観を基準にしています。なぜなら、それは社会の良心だからです。子どもたちは、両親から価値観を教わり、そうしてその価値観は、学校や、教会や、また地域社会の中で、強化されるのです。しかし、中心となるべきは家族です。だから、私たち共和党員は、家族が社会の中で正しい場所に戻されなければならないと信ずるのです。

家族は、しかし、良い経済環境で繁栄する必要があります。人並みの賃金は、これらの信念を使用し、伝えるための家族の中心部分です。だから、私たち共和党員は、自由な企業システムと、より早く成長する経済を信ずるのです。だから、私たちは成長に賛成することを約束しているのです。私たちは税の重荷を小さくし、政府の規制を減らし、そして政府の支出を減らすことを約束しています。すべては、すべてのアメリカ人のために、より高い経済成長をもたらし、同時によりよい仕事、賃金、そして生活の基準を増やすためです。

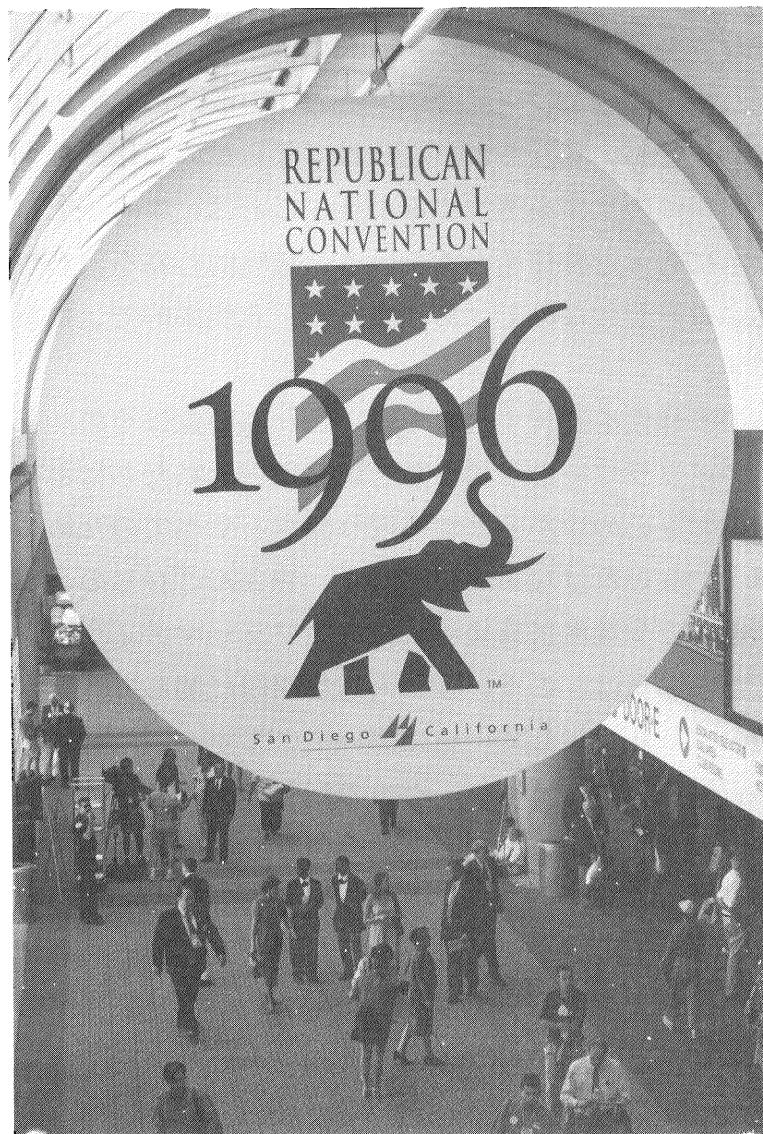
私たちは、しかし、同情から後退してはなりません。私たちは、お金を節約するだけのためではなく、福祉などを必要とするアメリカ人の世話をするために、もっと良い方法があると信ずるから、医療保険改革、福祉改革、その他の改革のために戦うというメッセージを伝えなければなりません。私たちがしなければならないのは、権利を与えることに対する改革です。他から一つの集団を選抜するようなことは、すべきではありません。すべての者は、自分のためにもっと責任をとるという、犠牲的行為を習わなければなりません。事実として、すべての政府が敵なのではありません。非能率的で、無駄が多く、数が多すぎる政府こそが敵です。

私たちは、私たちの多様性を賞賛すべきです。私たちの党はその一部分です。最近のヒスパニック移民は、メイフラワーの子孫たちと同じほど、私たちにとって貴重でなければなりません。私たちはお互いの中から差別を取り除き、すべてのための平等な権利と均等な機会を認める唱導者でなければならないのです。皆さんご存じのとおり、私は女性の選択する権利（妊娠中絶）と少数民族優遇政策（アファーマティヴアクション）を信ずる者です。しかし、私たちの党は、こういう個人的な問題に関して意見が一致しないほど大きな党ですし、共通のゴールを目指して一緒に働いています。

私の家族は、長い冒険旅行をニューヨーク市の舗装の上から始めました。私たちの指導者は、カンザスから（サンディエゴまでの）大陸の半分の旅を始めました。いまだいろいろな点で、私たちの話は似通っています。彼の両親の価値観が、彼の中に新しい価値観を生み、それが彼に、合衆国上院議会における著名な経験を導いたのです。そこで、私は彼と出会いました。私はいつも彼と、彼の選択した副大統領候補、ジャック・ケンプを信頼することができます。私たちは、私たちの指導者が、私たちの大望にふさわしいことを知っています。

私たちは、恐れと興奮を感じながら、新しい世紀の先端に立っていますが、いくつかのことは、国家として、私たちの日常生活の中でもっとも基本的で、重要なこととして、い

つも同じように残っています。最初に小切手を家に持ち帰ること。楽団が『星条旗よ永遠なれ』を演奏するときや、オリンピックにおけるアメリカの壮大な勝利に感じずにはいられないスリル。家族を育てるこの日常的な挑戦とその楽しみ。家庭や地域や国家を、私たちみんなにとってより良い場所にするため、いろいろな方法で友人や近所の人々と協力し合うこと。これらは、間断なく繰り返されるものとして残っています。これらは、私たちを一つにさせるものです。」



サンディエゴ・コンベンションセンター  
(象は共和党の象徴である)

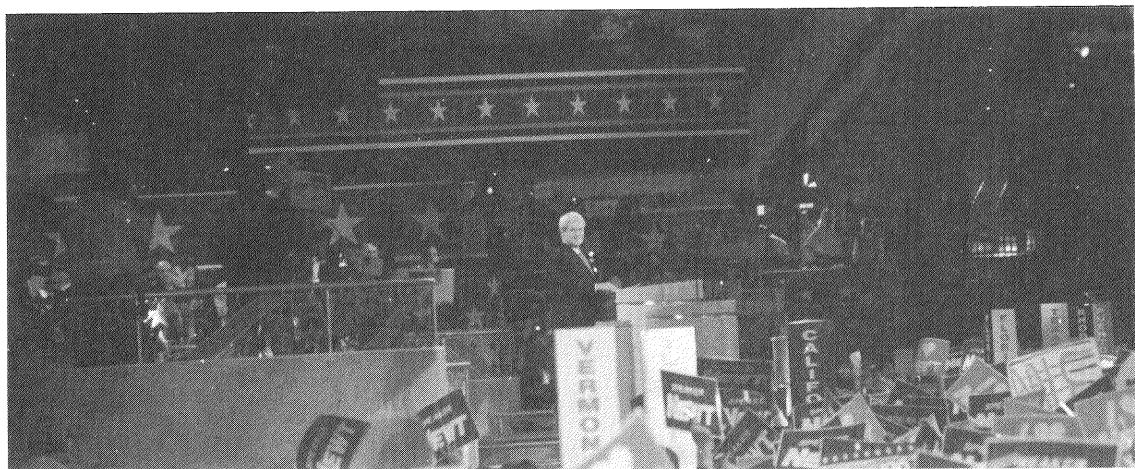
第二日目（1996年8月13日）

ニュート・ギングリッチ（アメリカ合衆国下院議長、ジョージア州）

「まず、世界で最初のビーチバレーボールの金メダリストを、皆さんに紹介します。この達成記録は、自由とは何かをすべて物語っています。ちょうど40年前、ビーチバレーボールは、ゲームとして始まったばかりでした。今では、30か国以上が参加する国際大会として、オリンピックスポーツとなっています。アメリカでは、25都市13州にそれぞれチームがあります。機会を与えるすべての新しい世界は発達しています。そして官僚機構にはそれを発明する力はありません。

自由とは、昨晩コリン・パウエルが語った夢に関することです。自由とは、ドール上院議員が戦場で重傷を負い、その後の39か月のすべてとあらゆる手術に耐えたように、挑戦に対する応酬のことです。自由とは、ジェニファー・アーノルドが多発性硬化症にかかり、障害者の（目や手足となる）ために犬を訓練するボランティア慈善団体を設立することで答えたように、逆境に面したときに莫大な勇気を見せることです。

自由は、月曜日の朝目覚めたときに、アメリカ中で一人の子どもも殺されることができないと信ずる勇気を、私たちに与えてくれます。自由は、月曜日の朝、すべての家族が、仕事を持つ、仕事を作り、仕事に対する技術を磨くために学んでいると信ずる勇気を、私たちに与えてくれます。自由は、月曜日の朝、すべてのアメリカ人が、彼等を教育してくれる学校へ行くことを期待し、権利があると信ずる勇気を、私たちに与えてくれます。そして、すべてのアメリカ人は、仕事に行けば、自分たちの家族や地域社会に代金を支払い、かつ家を持てるだけの額の賃金と、少ない税金分を得られると予想しています。」



ニュート・ギングリッチ氏

### クリスティン・トッド・ホイットマン（ニュージャージー州知事）

「私たちは個人の価値を信じます。私たちはすべての人々を独特にする多様性を尊重します。それらは、アメリカの人々に裕福さを、共和党に強さをもたらします。しかし、私たちの異なった個性のために、私たちは同じゴールを目指して統一しなければなりません。

私たちは、アメリカ合衆国の次の大統領として、ボブ・ドールの下に団結しています。彼は、人々が自分自身の暮らしを営むすべての場所に存在する問題を、解決する方法を知っています。そこが、個人の能力を促進させるため、共和党の主義が働いている場所なのです。

明らかに、クリントン大統領は、私たちが信じていることを信じていません。彼は、中産階級の税金を減らすと言いましたが、彼が提案した税金のまさに浮き彫りである、共和党による子ども一人あたり500ドルの減税には拒否権を発動しました。今、ボブ・ドールが、アメリカの家族に15%の減税を提案したところ、ビル・クリントンは無理だと言いました。同じ言葉を私は聞いたことがあります。私がニュージャージー州民のために、30%の減税を提案したところ、彼等はあざけりました。私たちは、ニュージャージーで、過去30か月の間に、10回の減税を行ってきたのです！私たちは、政府より個人のほうが、自分たちのお金をどのように使うべきかをよく知っていると思います。

もちろん、私たちの敵は、中には責任をとることのできない人間がいると、信じています。彼等はニュージャージー州エリザベスの、ラファエルハウスに行ったことがないのです。そこは、自分たちだけの力でうまくやりたいと思う、ホームレスや妊娠した女性の家です。規則はたいへん厳しいですが、誰も文句を言いません。青少年犯罪にも同じことが適用できます。明らかに、ビル・クリントンや大きな政府を押し付けようとする者たちは、ニュージャージー州フランクリン（タウンシップ）のバプチスト派聖職者、バスター・スワレスに会ったことありません。12人の子どもたちがギャング同士の戦いで逮捕された後、彼は裁判所に行き、彼等の面倒を私が見ましょう、と言って下さったのです。彼は自分の教会と地域社会の助けを借りて、彼等一人一人に助言を与えました。そこでは、大きな政府は何も役に立ちませんでした。

私は40年前、最初の党大会へ行きました。そこでカンサス人、アイク・アイゼンハワーが指名されました。私は、私たちの時代の偉大なカンサス人を、皆さんに喜んで推薦します。その人は、ボブ・ドールです。」

### ケイ・ベイリー・ハッチンソン（アメリカ合衆国上院議員、テキサス州）

「皆さんには、約束を守る人間を大統領に選ぶときだとは思わないのでしょうか？その男は、ボブ・ドールです。私は混乱していることを認めなければなりません。大統領は、均衡予算を約束しましたか？共和党議会は、彼にそれを提案しませんでしたか？彼は、それに拒否権を発動しませんでしたか？予算均衡のため、正確にいうと彼の地位は何ですか？」

彼は言いました。5年計画があります。7年計画があります。それは9年計画ができる

でしょう。10年で予算均衡を達成します。8年で達成できるでしょう。9年計画です。任意に7年でどうですか。他の言葉で言い替えれば、彼は守るつもりがある、というだけの約束をするだけなんです。もちろん、それが何だと、誰が知るでしょうか？

真実の世界では、言葉は何度繰り返して言っても同じ意味を持つのです。自分の約束を守る人間を指導者に選ぶときが来ました。その男は、ボブ・ドールです。」

#### J・C・ワツ（アメリカ合衆国下院議員、オクラホマ州）

「私は、ランニングメイトとして、議会で二番目に優秀なクォーターバックを選んだことに対し、ドール上院議員を賞賛します。アメリカンドリームのこととなると、市場の隅を持つ者は誰もいません。私たちはすべて、その夢を共有する機会を持っています。皆さんは、世界中からやって来る人間が、この国から出るために死にかかるに注目すべきです！

トム・ルイスは、夢を持つことがどういうことか、知っています。彼の警察官としての巡回区域であるワシントンDCで、彼は数え切れないほど、父親になってくれとせがむ父親のない子どもたちを見てきました。それで、彼は退職したとき、自分の生涯の貯蓄を使って、子どもたちに暖かい食べ物と、栄養のあるものを与え、家庭教師をするためのセンターとして、家を買ったのです。彼は、そこをさかな釣りの学校と名付けました。彼は、国中の数え切れないほどの、しかるべき名声を得ていない英雄たちに、他人の夢に少しばかりの物を分け与えることで、仲間に入ってもらいました。これらの人々は皆、同情と苦労は、ワシントンDCの官僚によって遠くから免除されることはできないということを知っています。

私たち共和党員は、民主党員とは違った同情の定義をします。私たちは、フードスタンプ、公立住宅、児童扶養世帯補助などの数を数えることはしません。私たちは、どれだけの少ない数の人々しか、これらの援助の手に頼らなければならなかつたか、ということを明らかにします。私たちは、私たちの魂から、私たちと政府の計画とを分離させてはいけないのです。ボブ・ドールはそのことを理解しています。彼は、父という肩書きが、すべての中でもっとも価値があることを知っています。

これは、今晚ここにいない青少年たちのための、特別なメッセージです。もし私たちの国が、再び偉大なものになろうとしているなら、皆さんには、皆さんのが役割を果たさなければなりません。皆さんには、アメリカのために戦わなければならないでしょう。この国を偉大なものにした価値のために戦わなければならないでしょう。学校をする休みしたり、試験でカンニングすることと戦わなければならないでしょう。スピード違反して運転したり、自分の子どもに背いたりすることと戦わなければならないでしょう。口汚なくののしったり、喫煙したりすることと戦わなければならないでしょう。皆さんには、皆さんのが両親が皆さんに見せた不屈の愛情のように、毎日神に感謝すべきです。皆さんには、麻薬とアルコールに戦うべきです。皆さんを弱くさせることにノーと言い、強くさせることにイエスと言

いましょう。」

スザン・モリナーリ（アメリカ合衆国下院議員、ニューヨーク州、基調演説者）

「私は今晚、いかにボブ・ドールとジャック・ケンプが、皆さんにアメリカンドリームを実現させるのを、少しやさしくするかについて、お話ししたいと思います。私にとっては、1904年に私の曾祖父が、イタリアから合衆国に来たとき、夢は始まりました。彼はニューヨーク市のクイーンズで床屋を始め、一生懸命働く情熱と、家族への信頼、そして彼が養子となった国への愛情を彼の息子に伝えました。彼の息子はそれを私の父へ伝え、彼はそれを私に伝えました。そして世代を経るにしたがって、アメリカンドリームは徐々に大きくなっていました。その一部分は、子どもたちに少しでも良い生活を伝えることです。3か月前に私たち自身の子どもを持って、夫と私は、その夢が何を意味するかが正確にわかり始めました。

しかし、多くのアメリカの家族にとって、その夢はより困難なものになりつつあります。彼等は本物の圧迫の下にあります。彼等は、自分たちの雇用、高齢になった両親の安全、そして子どもたちの機会のことを心配しています。私は、今日、限界まで手を伸ばさず、一日に十分な時間がないと不平をこぼさない親を知りません。私たち共和党員は、一日の時間を増やすことは約束できませんが、家族とともにもっと多くの時間を家庭で過ごすことには協力できます。

人々はただ漂っているだけの困難さを感じています。そしてそれがなぜなのかを知ることは簡単です。クリントン大統領は、史上最大の増税を行いました。今ではアメリカ人は、史上最大の、1ドルあたりおよそ40セントもの税金を支払っています。ボブ・ドールにはもっと良い考えがあります。すべての男女は、15%の減税を得られるのです。それはすべてのアメリカ人のために、良いことです。子どもが2人いる独身の母親は、共和党の減税政策によって、千ドルの利益があるでしょう。それは、すでに得た年金給付金を維持し、社会保障給付におけるビル・クリントンの増税を支払いたくない祖母のために、良いことです。低い抵当利率によって家を買うことは、若い夫婦のための計画です。

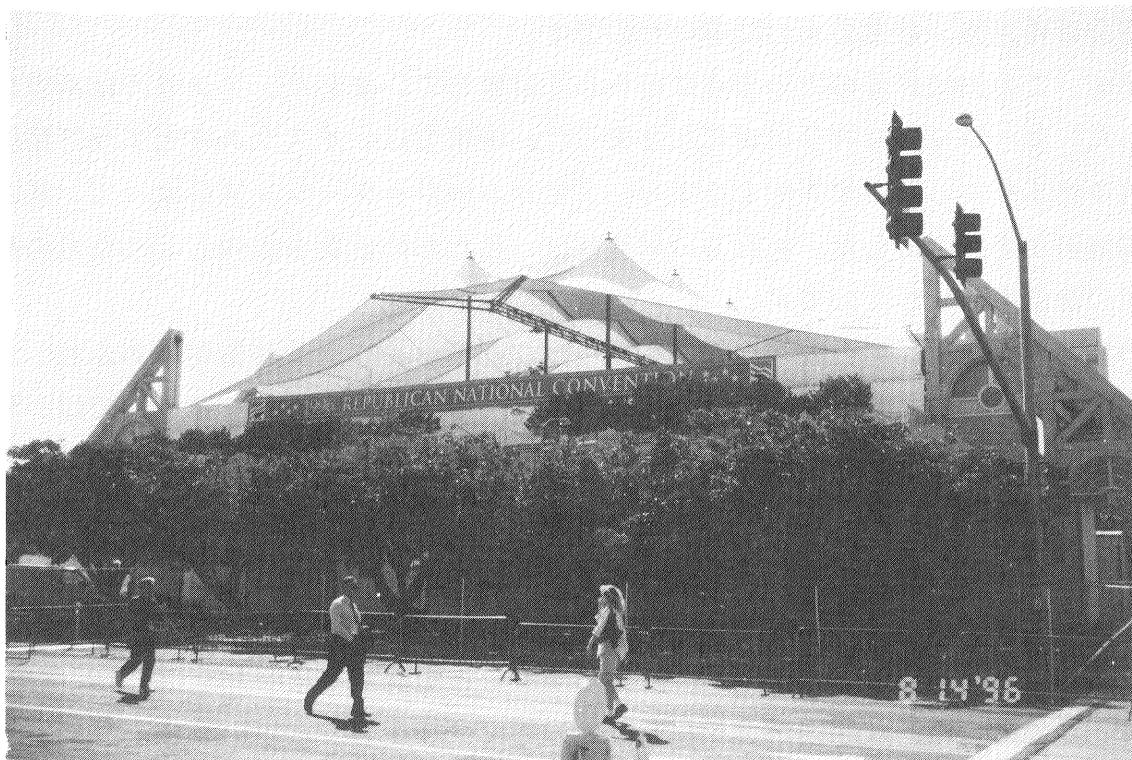
私たちは、新しい福祉改革法を成立させることで、福祉に頼って生活する多くの人々へ、依存と貧困のひどい循環から自身を抜けだせるための機会を与えた、共和党を誇りに思います。今、私たちは、クリントン政権が何も対策を講じてこなかった、爆発的に増加する青少年の麻薬使用に対処しなくてはなりません。

ボブ・ドールは、女性や子どもに対する暴力の使用をやめさせるため、新しい連邦下院議員の一人としての私にアプローチしました。そして彼は、古い法律の抜け穴を使って、子どもへの性的いたずらや女性暴行を行う者が自由になることを止めるため、法律を適合させることを助けました。彼は、いつもアメリカのために正しいことを行ってきました。そして彼は、私たちを追い詰めたことは一度もありません。

クリントン大統領には感謝しています。彼はあることを約束し、違うことを実行します。

中産階級への減税の約束が、果たされたか覚えてますか？彼の約束した常識的医療保険改革が、最後には巨大なワシントンの官僚機構に終わったことを覚えてますか？均衡財政とは何ですか？彼は予算を均衡化させる期限を、最初は5年で、次に10年で、そして7年で、今度は9年でと言い、最後には、共和党議会が立法化することを要求した、この25年間で最初の均衡予算法案に、拒否権を発動したのです。

私たちは、アメリカンドリームへの熱中を元に戻す大統領を選びたいのです。私たちはそれが滑り落ちるのを見ています。子どもたちの目に、希望を失った、空しい凝視を見ることほど、悪いものはありません。私たちは子どもたちの背後に希望と機会の遺産を置いてあげなくてはなりません。だから、この11月には、子どもたちの目をじっと見つめて、私たちのおのののの中にいる、まだ小さな声を一生懸命聞こうではありませんか。」



サンディエゴ・コンベンションセンター

第三日目（1996年8月14日）

ダン・クエール（元アメリカ合衆国副大統領）

「私は今日、ビル・クリントンによる失敗した大統領の地位を、ボブ・ドールによる偉大な大統領の将来性に取り替えることを強く薦めるためにきました。アメリカ中の家族の多数の支持のおかげで、私たちはこの国の価値観の風潮を変えてきました。4年前、ビル・クリントンが、それは人々の間に口論を生じさせるものだ、といって、家族の価値に対する討論をあざけったのを思い出してください。今日、彼は私の演説をしているのです！」

この選挙は、国家としての私たちの未来を選ぶものです。私たちの敵と、私たちを急進的と描写するメディアに備えてください。働く人々のために減税を行おうとするが、急進的でしょうか？予算を均衡化させることが、急進的でしょうか？親に教育の選択を与えるが、急進的でしょうか？法律制度を改革し、私たちにとって、それがもっと効果があるようにすることが、急進的でしょうか？妊娠7か月や8か月の胎児を守ることが、急進的でしょうか？アメリカの人々に、価値観を押し付けるのではなく、自分たちの価値観で生活するように依頼することが、急進的でしょうか？ビル・クリントンは、そう考えています。」

ジェームズ・ベーカー（元アメリカ合衆国国務長官）

「クリントン大統領の外交政策の歴史を書くとき、人々はそれを『ガリブル（愚直者）旅行記』と名付けることでしょう。私たちは、ロンドンで爆破事件が再発する数日前に、IRA（アイルランド共和国軍）の指導者を、クリントン政権がホストとしてもてなすのを見ました。それによって、私たちにもっとも近い同盟国であるイギリスとの関係を、ボストン茶会事件以来、最悪のものに導いたのです。

4年前、この国は世界の力の頂点に誇らしく君臨していました。アメリカは冷戦に勝利しました。ヨーロッパは再び自由になりました。中東では、イスラエルとアラブ諸国の対話が再び始まりました。世界中どこでも、アメリカのリーダーシップによって、民主主義と市場経済が進行中でした。私たちの同盟国は、私たちの言葉を信頼し、私たちの敵は、私たちの決意を尊重したのです。

その後の4年間は、何と大きな違いを作ったことでしょう。美辞麗句にあふれ、ころころ態度を変え、写真写りを気にする、4年間にわたる漂流。中央ヨーロッパでは、私たちはポーランド、ハンガリー、そしてチェコ共和国を、NATOの仲間入りさせる機会を失いました。ビル・クリントンは、モスクワに対し、牛に引かれるように、ただ平伏し、毅然とした態度を見せることはありません。アジアでは、同じように状況はより悪くなっています。中国との対話は難航し、結局後退しました。北朝鮮では、彼は国際社会の爪弾きとなつた政権の歓心を買い、原子力計画に譲歩することを決定しました。

私は、3つの批判的な原則が、私たちの国の外交交渉を導くと思います。第一番目は、私たちは、私たちの軍隊を、世界でもっとも優れたものに保ち続けなければならないとい

うことです。私たちは対弾道弾システムの構築を開始する必要があります。アメリカは、自分自身を防御する意思と手段を持たなければなりません。

第二番目の原則は、私たちへの信頼性を持つことです。あるいは、この場合は、元に戻すことと言い替えてもいいでしょう。何よりもまず、私たちは、ビル・クリントンがボスニアやソマリアで行った、軍事行動による無意味な脅迫をやめさせるべきです。

第三番目の原則は、アメリカは、大統領に指導力を与えなければならないということです。ロナルド・レーガンは、冷戦がアメリカの武力を通してのみ勝利できることを宣言したとき、そのことを理解していました。そして、彼が約束したように、ベルリンの壁と共産主義は、崩壊したのです。ジョージ・ブッシュは、サダメ・フセインの侵攻は許されるべきでないと宣言したとき、指導力の意味を理解していました。そして彼の約束したとおり、クウェートは自由になり、イラクの軍隊は後退させられました。

ボブ・ドールは、軍事力とは必要なものであり、贅沢なものではないということを理解しています。彼は、合衆国大統領の言葉は、私たちの国際的な信頼性を占うコインであることを理解しています。」

#### エリザベス・ドール（共和党大統領候補、ドール上院議員夫人）

「伝統では、演説者は、高い舞台の上にいるべきとされているようですが、私は、その規則を破ろうと思います。なぜなら、私は友人である皆さんの中にいて、舞台を降りて、皆さんの中にいたほうが気持ちがいいからです。私は、ロバート・ドールという、皆さんの候補者となる予定で、また、きわめて率直に言わせていただくなら、私にとって、私の運命を左右する、ジブラルタルの岩山である人間について、お話ししようと思います。私は、ボブ・ドールが長年にわたって仕えてきた人々は、私と同じように、彼のことを理解すべきであると思うのです。

この選挙は、次の世紀に向けて、アメリカの将来を決定する価値と想像力を選ぶものです。この選挙は、次の世紀に向けて、わたしたちを指導する人間の個性を選ぶものです。

ドール家の人々は、カンザス出身の貧しい人々でした。彼等は物質的には貧しかったのですが、しかし、他のことに関しては、とても裕福でした。たとえば誠実さ、品格、尊敬、個人の責任感、一生懸命働くこと、神への愛情、家族への愛情、そして愛国心。これらの価値が、第二次世界大戦のイタリアで、彼の命を危険にさらしました。そしてこれらの価値が、戦場で負った重大な障害を彼に残したもの、病院での3年間の回復に耐えさせ、アメリカ合衆国へ復帰させたのです。彼が、骨を接続させる手術の専門家である、カリキアン博士と知り合ったのはそのときです。ボブ・ドールは奇蹟を信じていましたが、カリキアン博士は、すばらしい治療をしてくださったものの、彼に対して、二つの選択肢から選ぶように、言いました。自分のことを気の毒に思い続けるか、それとも自分の人生とうまくつきあって、自分の負った障害を何かに生かすか、です。ボブ・ドールは、皆さんもご存じのとおり、後者を選びました。

彼は、幸運の少ない人、そして特に、障害を持った人に対して、いつも自分の心の中に、特別な場所を持ってきました。それが、彼が12年前、障害を持った人々のために、何千ドルもの資金を募って、ドール基金を設立した理由です。たとえば、何十年か前、彼はワシントンDCの中心部にある、サラのサークルという、貧しい高齢者のための、聖職者による家に、行こうと考えました。そのとき、私たちの誕生日を祝う代わりに、そこの35人から40人の住民が何をもっとも望んでいるかを知って、彼等に、想像上の誕生祝いをあげました。私たちは、サラのサークルでそうして以来、こういう誕生祝いを何回もしてきました。あるとき、ボブが、何かいつもと違ったお祝いを、感謝祭にしようと言い出して、それで私たちは、ワシントンDCの、生活のとても厳しい地区に住む35人の若い人々と、その教会の出資者を招待して、レストランで食事をすることにしました。たしか、そこにはテレビがあって、私たちはレッドスキンズのフットボールの試合を見たと思います。でも、もっともためになったのは、試合が終わった後の会話でした。共通の話題は、彼等若者たちが、教会以外の人々から、『私はあなたに関心がある』と言われたのは、本当にそのときが初めてだった、ということでした。彼はこういうことをふれ回ったりしませんが、これが、皆さんが決して聞くことのない、ボブ・ドールです。

彼は、他との積極的な違いを作ろうと望んでいます。それが、1983年に、社会保障を守るために彼が議会で成功に導いた業績に対し、上院が彼の多大な貢献を認めた理由です。それが、1981年に、彼がアメリカ史上最大の減税を成立に導いた理由です。それが、彼が下院と共同して、メディケアを守る方法を考え出した理由です。しかし、ただ大統領が拒否権を発動しただけの理由で、そのプログラムではいまだに多くのお金が使われています。高齢者を悩ませ、脅かすため、何百万ドルものお金が使われているのです。

ボブ・ドールの言葉は、彼の約束であると誰もが認めてきました。皆さんに彼を認めて、認めなくても、さんはいつでも、彼がどこに立っているか知っていました。そのことが、私たちが大統領に望むことではないのでしょうか？」



第四日目（1996年8月15日）

ジャック・ケンプ（共和党アメリカ合衆国副大統領候補）

「エイブラハム・リンカーンは、国をまず治めることで、党をもっとも良く治めることができると信じていました。私は、次のアメリカ合衆国大統領にボブ・ドールを選ぶこと以上に、この国をより良く治める方法を思いつくことができません。そして、私たちは、彼がすべての者にアメリカンドリームを取り戻すことを助けるため、共和党の議会を再び選ばなくてはなりません。

今晚、ボブ・ドールと私は、アメリカの成長、希望、指導力、そして文化の再生への、私たちの訴えを発表します。私たちはこの訴えを、肌の色や背景に関係なく、男も女も子どもたちも、ニューヨーク市のバラからカリフォルニア州のバリオスに至るまで、この国のすべての皆さんに投げかけるつもりです。私たちの目標は、ただ勝利するだけでなく、勝利に値することです。私たちの党は、すべての皆さんに話しかけなければなりません。リンカーンが言ったように、偉大な党の目的は、優れた理論と、原則に基づいた指導力と、そして人を動かさずにはおかないと大義を与えることです。

近年、一般教書演説の中で、下院議場のバルコニーの中から英雄を選び出すことが慣習になっているようです。来年、もしボブ・ドールがそれを読み上げるとしたら、私たちはある人物を舞台に立たせるべきです。月曜日に私たちがそうしたように、私たちが敬意を表すべき人間がもう一人います。その人間は私たちの精神を援助し、アメリカを過去の栄光に戻してくれたのです。その人間は、ロナルド・レーガンです。彼は、私たちに10年間の繁栄と、視野を広げることをもたらしました。共産主義は、そこにあるからではなく、それを押すから伝わるのです。そのことを間違えてはいけません。

冷戦の終結に伴い、すべての主義は、一つを除いて、すべて失敗に終りました。それは、民主主義による資本主義です。民主主義による資本主義は、富への希望であるだけではなく、正義への希望もあります。貧しい者の顔を覗き込んだとき、そこに苦痛と絶望を見ることができるでしょう。しかし、そこに神の表情も見ることができるはずです。なぜなら、私たちの中に、私たち自身のため、子どもたちのため、私たちの家族のため、そしてお互いのために、私たちの運命を改善したい、という欲望を植えたのは、神だからです。成長と機会を目指す究極の命令は、人間の尊厳を高めることです。

アメリカは、これらの人々を奮い立たせ、彼等の限りない可能性と精神を、外へ呼び出さなければなりません。すべての世代は、欠乏を計画し、または可能性を受け入れるため、希望と失望の選択に直面しています。私たちアメリカ人は、限界を受け入れません。私たちは、物事をそのままに据え置くことはしません。私はこのことを、ロサンゼルで育ちながら、私の父と母に教わりました。今日、アメリカは、無限の経済的可能性、技術的進歩、そして実業的冒険の入り口に立っています。しかし、アメリカの天才は、窒息しています。私たちの経済は、ゆっくりと成長し、家族の収入は、停滞するか、減少しています。

私たちの敵は、経済は順調で、前へ進んでいると考えています。もし、船が錨を上げて

いるように、経済が前進しているのなら、私に言わせてください。その錨とは、大きな政府と威圧的な官僚機構による、税金と多すぎる規則です。彼等は、できる範囲の最高のことをしていくと言ふでしょう。それは、彼等が人々ではなく、政府を信じているからです。彼等は政府が、私たちの暮らしや、ビジネスや、学校を支配することを望んでいるのです。彼等は、自由がもたらす無限の可能性を、まったく信じていないのです。

今日、民主党は民主的ではなく、エリート主義的になっています。彼等は人々を信じていません。信じているのは政府です。皆さんは、彼等がアメリカの中産階級の税金を引き上げ、医療保険を国家的なものにしようとして、アメリカの中産階級の減税を頑固に拒むことから、それを理解できると思います。それがエリート主義の問題点です。彼等は自分たちの方が良く知っていると思っているのです。真実は、普通の男女の方が、他者の上に積み上げられた専門家たちより、ずっと優れた知能と、賢明さを備えているのです。それを、常識的な知恵というのです。

民主党は、現状を維持する党ですが、私たちは、それを変える党です。私たちの第一歩は、アメリカの人々の生産的な才能を解放するための、減税を方法とする、政府と経済の結合政策による予算均衡化です。

減税と予算均衡化は、大統領に強い意思の力を必要とする問題です。ボブ・ドールにはその力があります。しかし、それは始まりに過ぎません。私たちは、税の仕組みを廃棄し、もっと平均的で、公平で、質素な、家族に賛成し、成長に賛成する、21世紀に向けた税法に、取り替えるべきです。だから、広汎な15%の減税と、子ども一人当たり500ドルの減税が意味を持つのです。アメリカの人々は、自分たちのお金を、政府よりずっと賢く使えるはずです。そして、かつて一人の稼ぎで何とかなったものが、二人分の稼ぎを必要とするなら、その経済は、アメリカ人のために十分良いなどと言えるでしょうか。私はこのことを心より言いたいのです。

私たちは、子どもを持つ独身の母親のことを忘れてはなりません。彼女たちは、機会に向けた、この偉大な時から放り出されてはなりません。私たちは街の中心部と、そこに発生する絶望を見捨ててはいけません。ボブ・ドールも私も、それをほったらかしにはしません。子どもが、成長した『とき』でなく、『もし』成長すれば、という言い方をするなら、私たちは国家として、彼等の才能と可能性をみすみす捨ててしまうことは、何と貧しいことかと考えるべきです。よりよい生活を求めて、私たちの大陸に来る人々がいるのは本当のことです。私たちは、移民の国家です。それが、私たちが『合法移民のために表のドアを開けておくことができるよう、不法移民のために裏のドアを閉めておく』理由です。

私たちは、そのすべての制度を尊敬し、父や母が子に伝えたいと願う価値を尊重し、平等の理想を現実的にし、そして民族の国境を超える、そんなアメリカを信じています。これはすべて、私たちの文化の再生にかかっています。

レーガン大統領は、アメリカのことを、丘の上の輝ける都市、他の国家の灯台と言いま

した。なぜなら、アメリカは、昔は有刺鉄線の後ろからその灯りを見ていて、今は自由になった他の多くの国家の上に強く君臨しているからです。自由は、決して保証されたものではありません。私たちは本当に、私たちを虜にしようとするものから身を守るため、絶えず警戒を怠らず、強くなくてはなりません。それが、私たちの次の大統領として、ボブ・ドールを選ぶ必要がある理由です。私は、レーガン大統領を20世紀最後のライオンと呼びました。私は、ボブ・ドールが21世紀最初のライオンと呼ばれると思っています。」



## ボブ・ドール（前アメリカ合衆国上院議員、共和党アメリカ合衆国大統領候補）

「私は、アメリカを来世紀に導くことを、楽しみにしています。しかし、これは私のための瞬間ではなく、アメリカのための瞬間です。ところで、私は誰で、どこから来たのでしょうか？それは、カンザス州ラッセルという、麦畠と油田に囲まれた、大草原の小さな町です。大草原出身の誰が、最初にあなたが受け入れなければならないことは、距離の概念です、などと言うでしょうか？そして、大草原から最初に学ぶことは、地形に比較した、人間の相対的な小ささです。そして、私が生まれ、育った広大な空の下で、人間はとても小さい生き物です。もしそう考えないのなら、その人間は間違っています。

誰も、自分の始まり、そして親のことを忘れずに、大きくなることはできません。私は、年齢という事実から、逃げるべきではないでしょう。偉大な大統領とは、執務室によって作られるのではなく、執務室に何を持ち込んだかによって作られるのです。それを知らない人々だけが神話と呼ぶ、そういう時代のアメリカへの懸け橋に、私をしてください。そんな時代はなかった、あるいはもう永遠に失われた、という人々へ、私は違うことを言うため、ここにいます。

私たちの国家は、何回も生き延びてきました。独立革命、南北戦争、世界大戦、人種的抑圧、そして経済的大惨事。今でも、結局は生き延びている途中なのです。しかしつい最近、私たちは、アメリカを偉大たらしめてきたことを急襲されましたが、それに対してどんな報いを受けたでしょうか？何百万人ものアメリカ人が、犯罪、麻薬、私生児、妊娠中絶、捨て子などがはびこっていると考えています。結局、この家族の惨状は、子どもを育てるのは、国や、共同体や、村なのだと教えられているからだと思います。

私たちは、家族の問題に関して、以前にまして国の押し付けを受けているだけでなく、以前にもまして、酷使され、無視され、虐待された子どもたちがいます。それは偶然の一一致ではありません。子どもを育てるのは、村や国ではなく、家族なのだと私は言いたいのです。

私が妥協をささやくと考える人々に、政治において、栄誉ある妥協は罪ではないと教えてあげましょう。それは専制政治と非寛容から守るものです。しかし、私たちの個人的な生活の基本については、私は決して妥協しません。古き人間の価値が、私には生きています。それらは休眠しているだけで、いつでも使える用意があります。自制と名誉、そして人々への信頼など、政府に回復することなど期待できないと思う人々に、私は私についてきなさいと申し上げます。正しい行為のみが、偉大な国家とそうでない国家とを識別するのです。非常に詳細な説明がここにあります。私たちの敵は、4年前、愚かなことに問題は経済であると言いました。いかなる国家かということこそ問題なのです。経済の問題を含むとはいって、私が身をもって体験したとおり国家の正義は富裕か貧困かに依存するものではないのです。

大統領は、広範な分野への監督と、物質的、倫理的、そして国家の存亡に関わること、この3つの領域に注意を払うことを要求されるのです。重要性は、この3つの領域で後者

になるほど増すのです。決して、再選に向けた継続的選挙運動を要求されるのではありません。4年前、重要なのは物質的なことだけだと、皆さんは言われました。物質的なことが重要でないとは、誰も言えません。そういう意味では、私たちはあまりに物質的すぎる独立心に溺れてきました。市場の自由とは、私たちの一般的な繁栄を最も良く保証するものです。そしてそれは、私たちの権利の最高の保証なのです。また、人々の利益のために経済をコントロールする政府は、結局、経済の利益のために人々をコントロールすることになるのです。

私たちの敵は、私たちが大事に育てているこれら経済上の権利を、利己的なものと考えています。彼等は、私たちのお金の使い方を、彼等の方が良く知っていると考えています。彼等は、何が倫理的で、公正なのか、という問い合わせに対する答えを、彼等が持っていると考えています。それは止めなければなりません。皆さん一生懸命働いて得た賃金で財源措置された、あいまいで、自己の利益に奉仕する計画を行政に決めさせることは、皆さんアメリカ人の品位を落とすことです。彼等は、自分たちのことしか考えていないのです。

私は、全体として、アメリカの人々はアメリカの利益のために、最も良く働くことができると言っています。皆さんが必要とするのは、そのことを尊重する人物がホワイトハウスにいることです。皆さんにとって、それはどういう意味でしょうか？

それは、大統領が、財政均衡化を憲法修正条項として議会を通過させ、州政府に批准を要求することです。それは、2002年までに連邦政府の財政を均衡化させるため、議会とともに働く大統領を持つことです。それは、大統領が、すべての納税者に15%の減税を行うことです。それは、中産階級と低所得層の家族に、子ども1人あたり500ドルの税控除を認めることです。それは、資産利得税を50%削減することで、ほとんどの新しい職を創造するスマートビジネスを、大統領が助けることです。それは、私たちが知っているような内国歳入庁を廃止する大統領のことです。それは、個人退職口座を拡大し、クリントン大統領の行った社会保障税への増税を無効にし、不動産税の軽減を行い、政府の規則を減らし、私たちの市民正義体系を改革し、教育の機会を与える奨学金制度を提供し、そして、すべてのアメリカのために、他にも多くの経済的かつ個人的安全保障のための提案を行う大統領のことです。それは止めるべきではありません。ジャック・ケンプとともに、私たちは、今ある税法体系をすべて改革すべきです。

皆さんは、今皆さんがある状態を持続させたいと望むことに対し、謝る必要はありません。対照的に、政府は、そのようにし過ぎていることに対して、謝らなくてはなりません。

私たちは、アメリカを第一に考えた通商政策を持つべきです。私たちは、アメリカの主権が、世界貿易機構(WTO)のような、他の公的機関によって侵害されるのを許すべきではありません。

私は、すべての人が、自分一人の力で人生を生き抜くことができるわけではないことを学んでいます。それが、私が1983年に社会保障を守るのを手伝った理由ですし、また、私たちのお年寄りのために、メディケアを守ることを確認すべき理由です。

移民について、お話ししましょう。国境を守るという、すべての主権国家の権利については、疑問を呈するまでもありません。すべての新しい移民は、米国憲法制定者たちの直接の子孫と、同じ尊敬もって資格を与えられるべきです。共和党は、大きく、包括的な政党です。そしてたくさんの視点を代表し、いろいろな異なった見解を受け入れます。疑う余地なく、すべての民族と宗教を含まないと考える者は、明らかに今晚間違った場所にいます。私たちはリンカーンの政党です。もし同意しない人がいるとしたら、そのときは、どうぞ、出口はあちらです。私たちは複数の国民ではなく一つの国民であるという概念は、あまりに自明であるため、その事実を改めて私たちが思い出す必要など全くありません。この教訓を忘れることなどありますか？私がイタリアで共に戦った仲間は、その民族的特徴によって自分たちを分類することなどありませんでした。皆、私と同じアメリカ人の血が流れていたのです。憲法は法の下の平等な保護を要求しています。勿論人種差別のための法律ではなく、人種差別を否定する法律です。そして、私の施政を導く光は、生まれや、人種による偏愛の要求や、手の中にある権利で他より審判に手心を加えることを期待される、そんな階級序列がこの国に存在しないことです。そして、結果まで保証できないとしても、このアメリカにおいて機会は保証するつもりです。

私たちは子どもたちを教育していません。私たちはたくさんのお金を教育に費やしていますが、すべての工業国の中で、もっとも低い成果しか得られていない国の一です。大統領は、すべての教員労働組合が、彼の再選を支持したことで、現状に満足しています。また、教員労働組合も、彼等の望む現状維持を、大統領も望んでいると知っています。教師たちではなく、これらの労働組合に、私は言いたい。もし教育が戦争なら、私たちは負けつつあります。もし教育がビジネスなら、私たちは破産しつつあります。もし教育が病人なら、私たちは死につつあります。これらの労働組合に、言わせてください。私は、あなた方が恐れている言葉を教えて、語彙を増やしてあげましょう。学校の選択。競争。奨学金の機会。

私たちは子どもたちに学んでほしいのですが、しかし、彼等はそうする安全な環境が得られなくてはなりません。私は、犯罪や、暴力的犯罪行為の根本原因に、攻撃を加えるつもりです。レーガン政権の時代に、私たちは連邦犯罪に対して仮釈放を廃止しました。ドール政権の時代に、私たちは全米中で仮釈放を廃止するため、州政府と協力するべきです。私の簡易審査方式によって、拳銃は、これら犯罪者たちの手から遠ざけられるでしょう。裁判官に、私は、憲法を修正することではなく、憲法を解釈することを期待します。

私たちは、この国の安全と防衛のためには、決して妥協すべきではありません。大統領は、私たちの軍隊は、もっと少ない数で、もっと多くのことができると言っています。私は同意できません。大統領は、イランがヨーロッパにより接近するのを弁護しています。私は違います。彼は、国連が、アメリカ人ではなく、リビヤのテロリストを取り締まり、訴追すると信頼しています。私は違います。彼は、私たちのミサイルが弱いことを受け入れています。私は違います。私たちは、私たちアメリカを損なうどのようなことに対して

も、この地球の隅に至るまで追跡する義務を、縮小させるべきではありません。もし、私たちが最後まで防御する用意ができているのなら、そのとき、どのような戦争も戦わるべきではないことが、現実的になるでしょう。

私たちは、人々を信ずる政党です。そこには、アメリカの、過去、現在、そして未来の姿を写しだす鏡が含まれています。

制服に身を包んだすべての兵士。忠誠の誓いを暗唱するすべての子どもたち。私たちアメリカの運命を、認め、応じることで、星条旗の前を通りすぎると、片手を胸の上に置くすべての市民。楽天さが私たちの血には流れています。私は、他のわずかの人にしか、このことができないことを知っています。私は未来を疑ったことが一度だけありましたが、しかし私は、障害は乗り越えられることを学びました。そして、私たちの人々の知恵の中に、そしてこの国の未来の中に、私は限りない信頼を持っています。」



アメリカ大草原